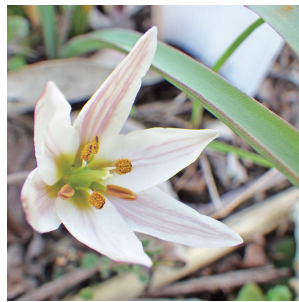


ビオトープ「シーオ」の 生きものの小ばなし



アマナ

3月2日(木)、春の暖かさに誘われて、チョウたちが目覚めたようです。今年に入って初めて、キタテハ、キタキチョウを確認しました。



ニホンアマガエル

急に気温が上がった3月7日(火)には、絶滅危惧種の植物アマナの花が咲きました。花は咲き始めてから1週間ほど、昼間に咲いて夜に閉じる、といったことを繰り返します。

3月8日(水)は、ニホンアマガエルが現れました。厳しい冬を乗り越え、冬眠から目覚めたようです。

春は生きものの様子が特に変化する時期です。何に出会えるかはお楽しみ。お散歩に、ぜひシーオへ遊びに来てください。

利用団体の活動予定

※変更の場合があります。

●桜金継ぎサークル

4月5、26日 / 5月10、17、24、31日(水)
10〜12時

●布遊びの会さくら

(和・小物)

4月27日 / 5月11、25日
(木) 13〜15時

●さくら布ぞうりの会

4月25日 / 5月9日(火)
10〜12時

●グループ「好和」

(着物リメイク)

4月25日 / 5月16日(火)
9時半〜12時

●桜・一閑張りを広める会

4月26日 / 5月24日(水)
9〜12時

知っているようで知らない 【ごみの正しい出し方】

古着・古タオルなど(繊維)

衣類やタオル、古布、毛布、カーテンなどの繊維は、①洗って、②乾かして、雨の降っていない日に、③ひもでしばって出してください。袋に入れて出すと、袋自体がごみになってしまいます。

**洗って乾かして
ひもでしばって出す**

袋には
入れない

繊維は回収後、汚れのひどいものや異物を取り除き、リユース(再利用)もしくはリサイクル(再生利用)されます。

リユース品は国内のリサイクルショップで販売されたり、海外へ輸出するので、ボタンやファスナーははずさないでください。それ以外は、工業用ウエスや断熱材用のフェルトなどにリサイクルされます。

羽毛・羊毛・わたが入ったもの、また汚れのひどいものはもえるごみへ出してください。

**羽毛・羊毛・わたの入った
衣類はもえるごみ**

桜環境センターの 利用団体紹介

ビオ・荒川 さいたま

子どもの頃の田島ヶ原

さいたま市の荒川河川敷とその周辺の自然環境保全に取り組むビオ・荒川さいたま。代表の福島一之さんは、定年後、高度経済成長によって失われた河川敷を、子どもの頃のような自然豊かな環境に戻したいと、活動を始めました。

節気ごとに観測・公開
月2回、サクラソウ自生

地の定時観測を行い、毎月27日にも、桜区から西区にかけての荒川左岸河川敷を定時観察しています。これらの結果をホームページなどで発信しています。

サクラソウを守りたい

荒川第一調節池の敷地内にあるサクラソウ自生地。治水が進み、上流から流れてくる肥沃な土と湿地環境を失い、ピーク時235万



株ほどのサクラソウが60万株ほどに減っています。

昨年、近隣の小学校から地元のサクラソウを育てたいので協力してほしいとの話がありました。かつて工事箇所のサクラソウの採取が許されたことがあり、その苗を増やしていた方から譲り受け、小学校で育てるお手伝いをしています。

今回の活動を近隣の小学校にも紹介して、より多くの方がサクラソウに親しみ応援してくれば、心強い限りです。

●ビオ・荒川さいたまを、より詳しく紹介しているHPはこちら。

